

新東名で静岡がもっと便利に！！ ～中田小学校児童が新東名高速道路の効果を学ぶ～

静岡市立中田小学校では5年生児童がNIE@しずおかの学習の一環として、新東名高速道路の効果などについて理解を深める取り組みが行われています。

静岡国道事務所では、平成25年5月28日に中田小学校児童115名へ新東名高速道路の概要、新東名が地域に与えた効果、道路やその役割などについて理解を深めて頂くための出前講座を実施しました。

【出前講座概要】

日時:平成25年5月28日(火)14:00～14:45

場所:中田小学校

講座内容:

- 新東名高速道路の概要
- 新東名が地域に与えた効果
- 道路やその役割 等々

【講座資料抜粋】

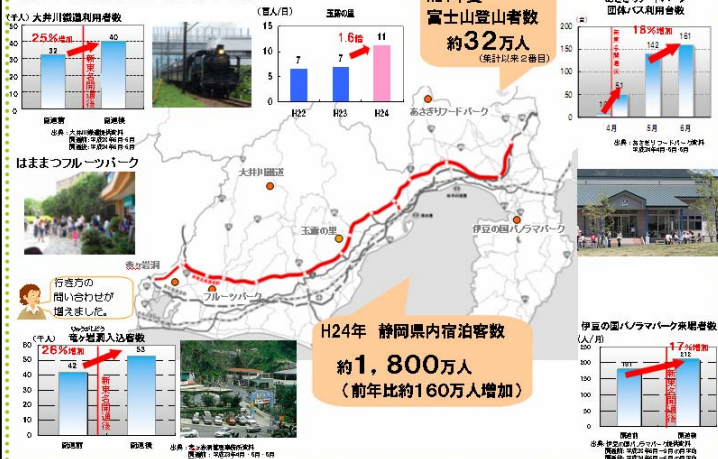
①新東名が開通してからは・・・



大丈夫!!
新東名ルートで荷物を
届けることが出来る!!



県内の観光客が増えました。

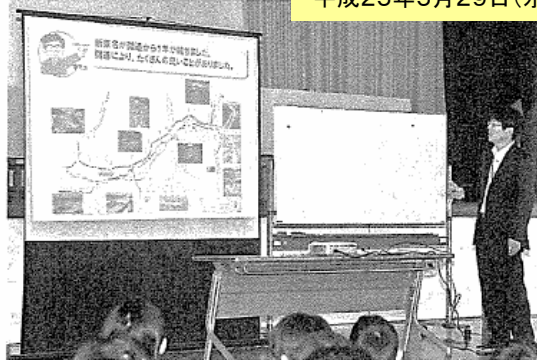


【出前講座状況写真】



【静岡新聞に掲載されました！！】

平成25年5月29日(水)静岡新聞 朝刊



新東名高速道の建設に至るいきさつなどを図解で説明する静岡国道事務所の職員(右)＝静岡市駿河区の市立中田小

新東名建設の経緯学ぶ

駿河区・中田小 国交省職員招き講座

静岡市立中田小(橋本ひろ子校長)は28日、国土交通省静岡国道事務所を招いた。5年生15人が聴講し、新東名高速道の効果や役割について理解を深めた。

総合的学習の一環。講師役の武田政昭・同事務所調査課長は「東京と大阪を結ぶ路線の渋滞解消と、地震や津波などの災害に強い高速道路建設が必要だった」と建設に至ったいきさつを説明した。

計画策定から開通までの約20年間の流れを図解でも紹介した。児童からは「耐震性は優れているのか」と鋭い質問が出て、講師を驚かせた。

【児童からいただいた感想】

- ・新東名ができていろんな所に行きやすくなったし、静岡にも来やすくなった。
- ・ネオパーサ駿河湾沼津がお城みたいで素敵。多くの方に利用してほしい。
- ・ネオパーサの利用者数の多さにびっくりした。